

■就労支援で再犯防止

北九州市人権推進センターがお送りする「明日への伝言板」です。

法務省の犯罪白書によると、刑務所を出た人が再び罪を犯す割合は43.8%。

その多くが出所しても仕事に就けなかった人たちです。

働く能力や意欲があっても、犯罪歴があると就職が厳しく、住むところもお金もない中、再び犯罪の道に足を踏み入れてしまうケースが少なくありません。

そんな中、再犯を減らすことを目的に、

出所した人たちの就労を支援する会社が、福岡市にあります。

会社の名前は、株式会社ヒューマンハーバー。

2012年に設立された資源リサイクル会社で、

現在、4人の出所者を正社員として雇用しています。

そのうち20代と30代の男性二人には、就労に必要な能力や資格を身に付けるための教育支援も行っています。

彼らの暮らす社員寮では、飼い主のいない猫を飼育することで心のケアをしようというユニークな試みも行われています。

さらに2013年からは、年間56人に教育機会と宿泊場所をセットで提供する取り組みもスタート。

このように、総合的に出所者の支援に取り組む会社は、全国でも例がありません。

「反省は一人でもできるけど、更生は一人ではできない」。

そえじまいさお

これは、ヒューマンハーバーの社長、副島 勲 さんの言葉です。

20年近くにわたり、刑務所や少年院を出所した人たちの

社会復帰を支援する保護司を務めてきた経験から、この会社の設立に思い至りました。

「一度罪を犯したから『ダメな人間だ』というレッテルを貼るのではなく、心から反省し罪を償った人たちが、再出発しやすい仕組みを作りたい」。

そんな強い思いがあります。

副島社長は、こうも言っています。

「罪を犯したとはいえ、更生意欲が高く優秀な人も多い」と。

最終的な目的は、日本から再犯をなくすこと。
そのためにも、ヒューマンハーバーの事業を拡大すると同時に、
教育支援によって多くの経営者を生み出すことで、
出所者の雇用の場を増やしたいと考えています。

再犯が減れば、誰もが安心して暮らせる社会につながります。
刑を終えて出所した人たちが社会復帰するとき、
犯罪者として排除するのではなく、社会の一員として受け入れることが大事です。

では、また。